

令和４年度 まちづくり懇談会における要望内容等

No.	要望内容等	まちづくり懇談会当日の回答者 回答内容	担当課	現在の状況並びに対応方針等
1	交通安全母の会と婦人防火クラブがあるが、今は人が少なくなってきてやる人がいない。委託するか町でしてほしい。	■総務課長 他の地区からも同じようなご要望が出ています。時間がかかりますが、検討させていただきます。	総務課	両組織とも、役員会等に諮り意見を聞いたうえで対応を判断します。
2	空き家の状態がひどく、近所に迷惑になっている物件の対応や条例(制度)などはいかがか。	■総務課長 現時点において具体的な対策はないですが、このような問合せが多いことから今後検討していきます。	総務課	仮称「川崎町危険空き家対策連絡会議」を立ち上げ、次のとおり事案ごとに担当課で対応する予定です。 ①総務課：防犯及び防火対策②税務課：所有者等の特定③建設水道課：建築、設備等の危険除去④町民生活課：衛生確保及び廃棄物処理⑤地域振興課：空き家活用
3	青根の廃墟ホテル火災について、持ち主が不明とのことであったが、施設は水槽があったりゴミが散乱するなどすごい状況である。特に水槽は人が入ったら危険である。立入禁止の表示など、町としてできる対策はないのか。	■町長 警察や消防に確認し、町としてできる対策を検討します。	総務課	立入禁止の看板を設置しました。
4	投票率アップを図るためにも投票所までのバス運行等の対策をお願いしたい。	■町長 何らかの対策を考えたいと思います。	総務課	選挙管理委員の意見を踏まえ、今後検討していきます。
5	総務省の統計データによると2040年の川崎町の人口は約40%減少すると予測されており、換算すると人口が約5,400人となる。この人口となった場合の予算規模はどうなるのか。	■町長 国の財政状況が悪化している中で、予算の見通し見通しは非常に難しいのが実情です。	総務課	回答内容のとおり
6	昔は青年団体協議会など出会いの場があり、そこで結婚した人も多かった。現在ではそういった催しはあるのか。	■町民生活課長 これまで町で婚活事業をやっていましたが、ここ数年はコロナの影響で出来ていません。コロナの状況が落ち着いたら補正予算を組んで実施したいと思います。	町民生活課	回答内容のとおり
7	合併浄化槽の補助金制度と浄化槽の取り扱いの内容は。浄化槽に不備のある箇所等について町は把握しているのか。	■町民生活課補佐 5人槽・7人槽で助成額が変わります。浄化槽の不備については町も把握していますが、情報があったら提供願います。	町民生活課	合併浄化槽の補助金制度については、居住専用の住宅に補助し、別荘や店舗等は補助対象外です。浄化槽の不備のある箇所等については、浄化槽検査センターから報告が来るものを町で把握しています。

令和４年度 まちづくり懇談会における要望内容等

No.	要望内容等	まちづくり懇談会当日の回答者 回答内容	担当課	現在の状況並びに対応方針等
8	毎年ごみ拾いボランティアをやっているが、笹谷分館の下に大型車の運転手がよくごみを捨てている。何とか出来ないか。	■町長 検討させてください。	町民生活課	現地を確認しました。定期的な巡回に加え、不法投棄看板や監視用カメラの設置を区長と協議、検討します。冬期の積雪を考慮しながら今後の対応を考えます。
9	第2小学校前に停留所があり、「子ども見守り隊」として活動している。雨や雪が降った時に子供たちがかわいそうだ。屋根だけでもいいから設置していただけないか。	■町長 検討させてください。	町民生活課	バス停の屋根設置は、行政区で実施していただき、その費用の一部は町が助成いたします。
10	川崎町は税金の滞納がひどい状況であると聞いているが、滞納額は。	■税務課長 令和2年度実績は、一般町税94.6%（県28/35位）、国保税76.8%（県26/35位）という状況でした。また、町外者の滞納が大きくなると徴収が困難になるため注意していきます。滞納額は令和2年度末で約4,800万円です。10年前は2億円という時もありました。	税務課	回答内容のとおり。今後も滞納額縮減に向けて努めていきます。
11	徴収率の推移を教えてほしい。	■税務課長 県内最下位の時代もありましたが現在最下位は脱出しています。徴収率はR1が95.2%、R2が94.6%、R3が94.1%と減少傾向でありコロナによる減収が影響していると思われます。	税務課	回答内容のとおり。徴収率向上に向けて努めていきます。
12	町内で捕獲した猪は売買できないのか。	■農林課長 東京電力福島原発の放射能事故の影響と、食品衛生法上の許認可の問題からできません。個人の趣味の範囲内で、捕って食べられている方はいます。豚熱の流行で捕獲数も減っています。	農林課	回答内容のとおり
13	今年は国道の草刈が遅いのでは。	■建設水道課長 町内国道の管理が県なのでいつ作業に入るか町では決められません。県の発注時期と業者の都合もあるので町へ連絡をもらえると助かります。県へ確認します。	建設水道課	町内の県管理道路(国道・県道)の路肩状況について異変や苦情等があれば、随時現地を確認するとともに、大河原土木事務所へ報告を行っています。確認した結果、刈り払い作業は人力であるため作業者の負担が大きく、熱中症対策を講じる必要があるため、計画通りの進捗につながらないことや作業員の高齢化が、作業が遅れている要因のひとつとなっているようです。
14	空き家バンクで反社会的な人が入ってくることがないか確認する方法は。また、制度をとoshて移住する人へ自治会に加入する促しをしていただきたい。	■地域振興課長 空き家バンクに登録する際に「私は反社会勢力ではない」という宣誓書を書いてもらっており、それを信じている状況です。警察に確認はしていません。空き家バンクは移住する際に自治会・行政区に加入することを了承した人でなければ登録・利用できないこととしています。	地域振興課	回答内容のとおり

令和４年度 まちづくり懇談会における要望内容等

No.	要望内容等	まちづくり懇談会当日の回答者 回答内容	担当課	現在の状況並びに対応方針等
15	地域おこし協力隊の人数に上限はあるのか。	■町長 上限はありませんが、今はこの制度が根付いてきてどこでもやり始めて、人を確保するのが難しくなってきました。昨年、森林組合の協力隊を募集しましたがゼロでした。今年は広報、募集方法を変えて募集したら１人確保することができました。	地域振興課	回答内容のとおり
16	風力のみならず、太陽光発電などの開発について、条例化して町の開発や山林に対する意向や姿勢を示してはどうか。	■町長 去年、太陽光や風力発電について町の条例を制定しましたが、今回のように事業者が来て説明会を義務付けるとか、そういった強制力のある条例ではなかったので、議会の皆さんとも勉強して、もっと拘束力の強い条例をつくらうということで検討しています。風力発電については、今後すべての事業が反対という訳ではありません。事業について理解し、町民への説明、理解も図ってまいります。	地域振興課	条例について、今年度中に改正すべく取り組みます。
17	川崎町の高齢者はどれくらいいるのか。高齢者が増えると町民税が少なくなる。町民税が少なくなると財政が厳しくなる。一番の課題だと思うが、どうするのか。	■保健福祉課長 65歳以上が3,226人で、率にすると38%を超えました。 ■町長 しっかり財政を考えていかないとはいけません。借金は減っているが油断はできません。職員にも意識してもらいます。移住定住の政策も推進します。	保健福祉課 地域振興課	令和４年８月末で3,257人/8,315人≒39.17%、令和５年中に40%となる模様です。各種福祉事業の充実と病気の早期発見・治療の意識啓蒙を図り、ひいては医療費コストを圧縮していきます。移住定住の政策も推進していきます。
18	高齢化が進み民生委員の果たす役割、責任が広範囲にわたって出てくると思う。現在は区長推薦という形になっているが、次の民生委員を育てるような工夫を考えてもらえないか。	■保健福祉課長 民生委員の処遇について行政区長や議会と相談し、今年度から年額報酬のかさ上げをするよう対応しています。年額50,400円から80,000円とするよう条例改正する予定です。	保健福祉課	処遇の改善として、本年度から報酬を年額８万円に条例改正し、補正予算可決済です。地域福祉への気運醸成や担い手発掘に力を注いでいきます。地域活動へのテコ入れによって地域住民の互助意識の重要性を訴えていきます。
19	タクシー券の支給について、非課税の人だけではなく、年金を受給している人のことも考えて対象にして欲しい。	■保健福祉課長 現状では通院や介護で日常生活を営むことが困難な在宅高齢者の足の確保のため助成券を渡しています。条件は75歳以上かつ市町村民税の非課税者、身体障害者・精神障害者の手帳保有者、運転免許証を自主返納された方のいずれかに該当していれば対象となります。	保健福祉課	回答内容のとおり。今後、高齢者の足の確保策としてタクシー利用助成額の拡充を進めていきます。 (参考) 令和４年９月現在で登録者374人（令和３年380人2,910千円）、免許証返納による該当者34人（全体９％弱）

令和４年度 まちづくり懇談会における要望内容等

No.	要望内容等	まちづくり懇談会当日の回答者 回答内容	担当課	現在の状況並びに対応方針等
20	つづらごの予防接種について、個人負担、予約方法、受けられる医療機関は。ワクチンは１回打てばずっと有効なのか。	■保健福祉課長 「ビゲン」というワクチンは１回あたり8,000円かかり、4,800円の助成です。「シングリックス」というワクチンは２回打たなくてはなりません。１回あたり22,000円で、そのうち13,000円が町の助成です。その差額分が個人負担となります。対象者は65歳以上。予約は電話で行い、医療機関は川崎病院、山家医院、田中医院です。町外で接種された場合は、一旦全額をお支払いいただき、保健福祉課で払い戻しの手続きをしてもらいます。ワクチンの有効期間ですが、「ビゲン」が４年を超えると有効性が落ちます。「シングリックス」は２回打つ必要がありますが、こちらは長期間持続します。	保健福祉課	回答内容のとおり
21	昔は川崎病院で手術する患者がいた。現在川崎病院では手術をしていないのか。	■病院事務長 川崎病院で手術が出来ればよいですが、スタッフを集め設備を整えるのが大変です。よって、川崎病院は難しい手術などは行わず、ベッドの稼働率を上げることで収入を増やす取り組みに徹しています。	病院	回答内容のとおり。常勤外科医が軽微な縫合等の外科手術は行っていますが、開腹を伴うような手術は設備の維持や医療スタッフの確保等に多額の費用を要するため実施していません。今後も、経営状況を鑑み、効率の良い診療体制を築いていきます。
22	町内に個人病院もあるが、川崎病院を存続しないと、もう診てくれる人がいない。これから５年先、10年先を病院としてどうやっていくのか。	■町長 川崎病院は維持していかなければなりません。医者の確保のため、毎年、東北大学病院に行って引き続き支援や医者の派遣をお願いしています。病院が無ければ安心してこの町に住むことが出来ないの、病院を維持していくよう、議会の皆さんとともに努力して予算を捻出し、医者や看護師を確保していきたいと思っています。	病院	回答内容のとおり。常勤医師の確保については、宮城県ドクターバンクや東北地域医療支援機構を利用し、地域医療に高い志を持つ医師を紹介してもらうほか、東北大学や東北医科薬科大学等の支援を仰ぎながら、安定した医師確保に努めていきます。
23	病院経営のスタッフの数は足りているか。	■病院事務長 看護師、看護助手について随時募集をかけていますが、応募が少ないので心当たりのある方はお声がけをお願いします。	病院	回答内容のとおり
24	川崎病院に女性の医師がいない。採用予定はあるか。	■病院事務長 東北薬科大から来ている女医の方がいるほか、皮膚科にもいます。常日ごろの受診で女医に診断してもらえとは限らないので、どうしてもという場合は予約していただきたいと思います。医師の確保については町長に確認して進めていきます。	病院	回答内容のとおり。現在、常勤医師には女性の医師はいませんが、数年後には常勤医師が定年を迎えることから採用を検討する必要があります。その際には、女性に限定して採用することは難しいですが、ご要望を踏まえて検討していきます。

令和４年度 まちづくり懇談会における要望内容等

No.	要望内容等	まちづくり懇談会当日の回答者 回答内容	担当課	現在の状況並びに対応方針等
25	学校の空き教室を利用して子ども達を受け入れる寮を作るとか、各家庭の空き部屋に下宿で子どもを受け入れるとか、町民の力を借りて子ども達の健全育成を図るようなまちづくりをしてはどうか。	■教育長 仙南では丸森町が各方面、都会の方から子ども達を受け入れてきたという経緯も聞いています。子どもの数が少なくなっていく中で、地域が活性化していくためには、よそから子供たちを迎えるためには、どんなことができるか、どのような準備をすればいいか、勉強させていただきたいと思います。	学務課	回答内容のとおり
26	富岡小学校、中学校について、生徒数も減少し、校舎や施設の維持補修もままならない。今後の展望を教えてほしい。	■町長 ある程度の生徒数がいないと部活動をすることもできません。学校の統廃合を進めてきましたが、さらに議論していかななくてはなりません。川崎小学校も老朽化が進んでおり、全町で１校との声もあります。	学務課	回答内容のとおり